

平成27年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	永井 毅
		全体計画				経費区分		-		内線	3625
事務事業名	4324 生涯スポーツ事業										
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課										
施 策	04022100 スポーツ活動の充実										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	100703 教育費・保健体育費・体育振興費									
	事業	020000 生涯スポーツ事業									
事業目的						事業概要・効果					
市民の誰もがライフステージに応じたスポーツ活動に親しみ、健康の増進や豊かなスポーツライフの実現を図る。						地域別スポーツ教室の開催や学校開放、各種大会・行事を主催し、各種スポーツの普及発展と市民の交流、健康増進・相互の親睦、生涯スポーツを推進する。 峰の原高原スキー場の小・中学生利用について新たに負担金を創設し、ウィンタースポーツの振興を支援する。 総合型地域スポーツクラブ「いきいきスポーツクラブしざか」が解散したことに伴う、子ども向けスポーツ教室をH25年度に引き続き委託する。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
市民スポーツ教室の開催 参加延人員 1,715人 ゲートボール&ニュースポーツフェスティバル 参加者計 416人 竜の里須坂健康マラソン全国大会 参加者 2,883人	地域別スポーツ教室の開催 参加延人員 282人 ゲートボール&ニュースポーツフェスティバル 参加者計 150人 竜の里須坂健康マラソン全国大会 参加者 2,721人 県安心子ども基金を活用し、講演会等実施 1,629人
平成24年度 実績	平成25年度 実績
地域別スポーツ教室の開催 参加延人員 520人 ゲートボール&ニュースポーツフェスティバル 参加者計 555人 竜の里須坂健康マラソン全国大会 参加者 2,725人	地域別スポーツ教室の開催 参加延人員 231人 ゲートボール&ニュースポーツフェスティバル 参加者計 730人 竜の里須坂健康マラソン全国大会 参加者 2,959人
平成26年度 実績	平成27年度 予定
地域別スポーツ教室 参加延人員 419人 ゲートボール&ニュースポーツフェスティバル 参加者計 555人 竜の里須坂健康マラソン全国大会 参加者 2,487人	地域別スポーツ教室、ゲートボール&ニュースポーツフェスティバル、の里須坂健康マラソン全国大会開催 峰の原高原スキー場リフト券負担事業実施

指標名	地域別スポーツ教室					単位	人
算式	600						
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標	500	520	540	560		600
	実績	282	520	231	419		
指標選定の理由	地域別にニュースポーツ教室を開催し、気軽にスポーツに親しみ、健康増進につなげる。						
最終年度目標の根拠	平成21年度実績値の約25%増						
指標名	竜の里須坂健康マラソン					単位	人
算式	3,200						
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標	3,000	3,000	3,000	3,100		3,200
	実績	2,721	2,725	2,959	2,487		
指標選定の理由	日頃から健康増進のためウォーキングをしている市民、ランニングをしている市民の増加につながる						
最終年度目標の根拠	平成21年実績値約1割増						
指標名	スポーツリーダーバンク					単位	人
算式	50						
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標	45	45	46	48		50
	実績	38	42	42	29		
指標選定の理由	地域のスポーツ推進のリーダー・指導者の確保、育成						
最終年度目標の根拠	ニュースポーツや各種大会等への指導者派遣要請に応えられる人数						

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		29,029	30,382
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	4,699	3,420
一般財源		24,330	26,962
人員数(人)	正規職員	2.6	2.5
	嘱託職員	1.0	0.9
	臨時職員	0.5	0.2
人員コスト	正規職員	17,830.8	17,145.0
	嘱託職員	2,725.0	2,452.5
	臨時職員	588.5	235.4
	計	21,144.3	19,832.9
市民一人当たりの経費		1.0	1.0
総額		50,173.3	50,214.9

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	2,528	ランニング教室講師謝礼、地域別スポーツ教室指導者謝礼等、全国大会出場者激励金 2,528千円
11節 需用費	1,134	主催大会役員食糧費、学校開放用消耗品等
13節 委託費	300	子どもスポーツ教室委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	24,593	須高行政事務組合(サマーランド運営費)負担金 19,893、竜の里健康マラソン大会負担金 3,600 他
その他	474	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,454	大会等指導者謝礼、全国大会参加者激励金
11節 需用費	1,100	大会・行事等消耗品、役員食糧費など
13節 委託費	700	スポーツ教室委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	26,409	須高行政事務組合教育費負担金（プール）、竜の里須坂健康マラソン全国大会負担金など
その他	719	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	市民の誰もがライフステージに応じたスポーツ活動に親しみ、健康の増進や豊かなスポーツライフの実現を図るため、ニュースポーツの普及、各種大会等主催または負担金を支出する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	市民の健康増進・体力増進を図るため、スポーツに親しむ機会の提供、指導者の派遣などを実施	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	市民ボランティア、各種団体等の協力を得て、大会運営に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

総合型地域スポーツクラブが解散し、市民がさまざまなスポーツに親しむ機会が少なくなっている。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
総合型市一揆スポーツクラブが解散した中で、健康スポーツの観点での生涯スポーツの推進を図る取組みが必要		スポーツ推進計画に沿って取り組みを進めたい。	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント